

会社概要／株式の状況

Corporate Data

会社概要(2011年5月31日現在)

商号 株式会社アイケイコーポレーション
 本社所在地 〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階
 事業内容 オートバイの新しい流通システムを提案する「バイク買取専門店」の経営
 設立 1998年9月(創業1994年9月)
 資本金 585,650千円
 連結従業員数 961名

役員(2011年5月31日現在)

代表取締役会長 石川 秋彦 常勤監査役 増淵 洋吉
 代表取締役社長 加藤 義博 監査役 諏訪 浩
 取締役副社長 大谷 真樹 監査役 山口 達郎
 取締役 山縣 俊
 取締役 産形 昭夫

※1 取締役のうち、産形 昭夫氏は社外取締役であります。
 ※2 監査役のうち、諏訪 浩、山口 達郎の各氏は社外監査役であります。

株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで
 定時株主総会 事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
 定時株主総会の基準日 11月30日
 剰余金の配当基準日 11月30日
 期末配当 5月31日
 中間配当 5月31日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 0120-232-711(フリーダイヤル)
 特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
 同連絡先 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 0120-288-324(フリーダイヤル)
 公告方法 当社ウェブサイト(<http://www.ikco.co.jp/>)
 もしくは日本経済新聞

株式の状況(2011年5月31日現在)

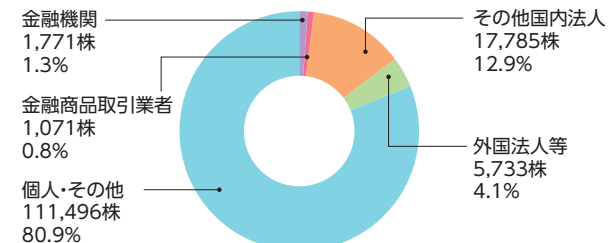
発行可能株式総数 普通株式 600,000株
 発行済株式の総数 普通株式 152,856株
 (自己株式15,000株を含む)
 株主数 2,524名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
石川秋彦	39,229株	28.5%
加藤義博	31,590	22.9
有限会社ケイ	9,000	6.5
株式会社キュー・エス・エス	7,733	5.6
石川ゆかり	4,289	3.1
アイケイコーポレーション従業員持株会	3,391	2.5
加藤信子	2,940	2.1
松山太河	2,675	1.9
大谷真樹	2,604	1.9
Xロソバンク エヌエーローリーター クライアント オムニバス	1,500	1.1

※1 当社は、自己株式を15,000株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 ※2 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 ※3 持株比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況

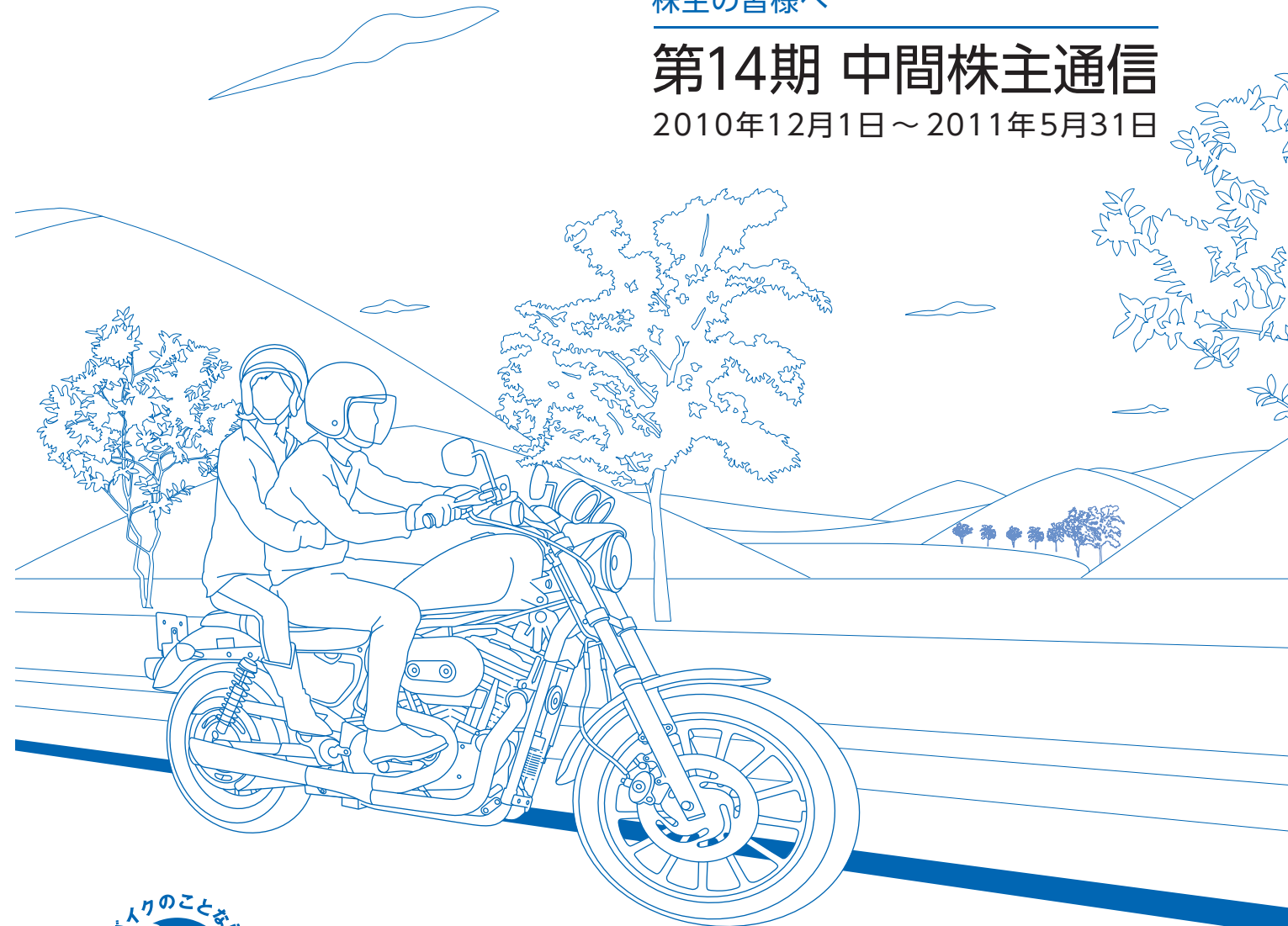


※1 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 ※2 持株比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。

株主の皆様へ

第14期 中間株主通信

2010年12月1日～2011年5月31日



株式会社アイケイコーポレーション

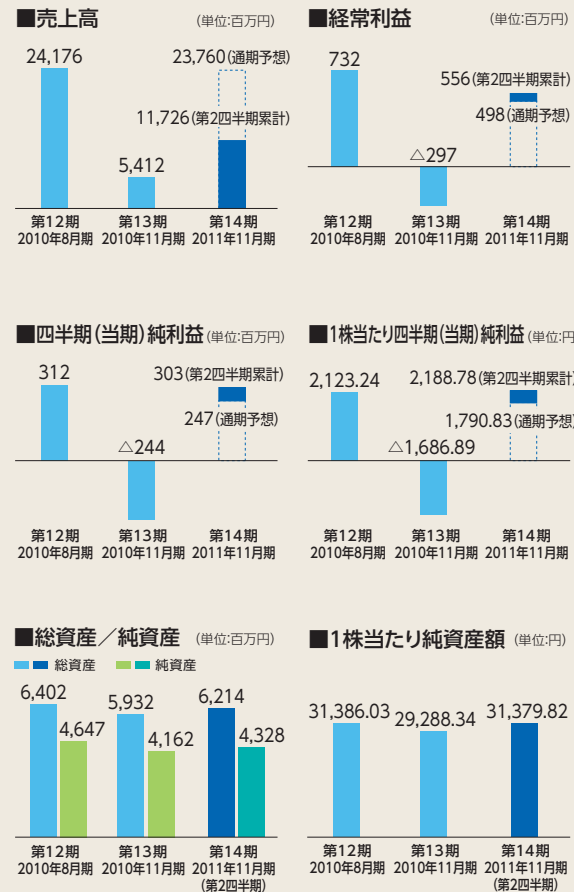
〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階
 TEL03-6803-8811 FAX03-3409-5050



株式会社アイケイコーポレーション



連結財務ハイライト



※第13期は、2010年9月1日から11月30日までの3ヶ月決算となります。



代表取締役社長
加藤 義博

代表取締役会長
石川 秋彦

ご挨拶

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2011年3月11日に発生しました「東日本大震災」により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。被災地が一日も早い復興を遂げられますよう心よりお祈り申し上げます。私ども、アイケイコーポレーションといたしましても、微力ながら被災地の復興支援に向けて尽力してまいります。

第14期(2011年11月期)第2四半期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなど一部で景気回復の動きがみられたものの、東日本大震災による影響により、先行きが不透明な状況となっております。

当社コアビジネスである中古オートバイ買取事業においては、広告効果の課題抽出・改善検証や買取成約率の向上施策等

を進めており、販売台数は前年同期と同水準に推移いたしました。一方で、平均売上単価(一台当たりの売上高)、平均粗利額(一台当たりの粗利額)は、当社グループの主たる販売先(出品先)である中古オートバイオークション市場の動向(2010年10月以降、堅調に推移しておりましたが、2011年3月、4月は相場が一時的に不安定に推移いたしました。なお、5月は季節トレンドに沿った上昇の兆しを見せております。)もあり、前年同期を下回って推移いたしました。なお新規の出店はありません。

以上の結果、直営店舗数は100店舗、セグメント間消去前の売上高は10,563百万円、経常利益は507百万円となりました。オートバイ小売事業は、「バイク王ダイレクトSHOP」を中心に、積極的な販売活動、小売販売店のブランディング強化を実施するとともに、将来的な多店舗展開を視野に入れた店舗パッケージの検証を目的に、1店舗を新規出店するとともに2店舗を閉鎖しております。

以上の結果、直営店舗数は10店舗(小売販売店:9店舗、パーツ販売店:1店舗)、セグメント間消去前の売上高は1,703百万円、経常利益は73百万円となりました。

オートバイ駐車場事業は、引き続き採算性を重視した事業地開発を実施することで、事業地開発と損益のバランスのとれた事業展開に努めてまいりました。

以上の結果、セグメント間消去前の売上高は300百万円、経常損失は24百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高11,726万円(前年同期比4.9%減)、営業利益511万円(同26.1%減)、経常利益556百万円(同23.1%減)、四半期純利益は303百万円(同25.2%減)となりました。

※前年同期比は決算期変更を踏まえ、2009年12月1日から2010年5月31日までを比較対象としています。

第14期(2011年11月期)通期の見通し

通期の連結業績予想は、2011年1月13日に公表いたしました決算短信に記載の業績予想から変更ありません。

なお、「東日本大震災」による業績への影響につきましては、現時点においては軽微であります。開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

中間配当／株主の皆様へのメッセージ

当社は、業績・事業計画等を総合的に勘案し、安定的な配当を実施していくことを基本方針としております。

以上の方針に基づき、株主の皆様への利益還元を機会を充実させるという観点から、当初の予定(2011年1月13日発表)どおり、第14期中間配当(一株当たり配当金600円)を実施することといたしました。なお、期末配当予想(600円)および年間配当予想(1,200円)についても、当初の予定より変更ありません。

【参考】 第13期(2010年11月期)配当実績： 300円
※決算期変更により、3ヶ月決算。
第12期(2010年 8月期)配当実績：1,200円
(中間600円、期末600円)

当社グループは、「オートバイライフの総合プランナー」の実現に向け、オートバイユーザーの皆様がより安心してオートバイライフを満喫できるよう全力でサポートするとともに、社会に愛される企業を目指し、市場の活性化、リユース・リサイクルを通じた社会・環境問題に貢献してまいります。



買取実績 No.1^{※!!} (2010年バイク買取台数の市場シェア 85.9%[※])

買取専門店「バイク王」のビジネスモデル

当社の主力ブランドである「バイク王」は、全国の買取拠点から専門の査定員がお客様のご自宅までオートバイを買い取りに伺う無料出張買取サービスを展開しております。

当社は、中古オートバイ流通市場において、①24時間365日の受付体制②オークション相場と連動した信頼の全国統一基準の査定③面倒な書類手続きの代行④全国対応の無料出張買取といった利便性の高いサービスを業界で先駆けて創出し、中古オートバイ買取専門店のリーディング・カンパニーとして成長してまいりました。

また、「バイク王」は在庫リスクを最小化するため、仕入れから資金回収までの期間を短期間(2週間程度)にする

ことで、効率的なキャッシュ・フロー経営を実現しております。

この結果、保管に要する人員・スペースの確保に係るコストを軽減するとともに、インフォメーションセンターや物流拠点などの業務の集中・効率化を図るなど、ローコストオペレーションを徹底し、高価買取を実現しております。

買取後の車輛は、全国の業者オークションで売却するほか、自社の小売販売店「バイク王ダイレクトSHOP」でも販売しております。

こうしたバイク王のビジネスモデルが、「買取実績No.1」を支えています。

※二輪中古車買取台数 株式会社矢野経済研究所調べ(2011年5月現在)

おかげさまで、「バイク王」のバイク買取サービスは、買取実績No.1^{※!!}

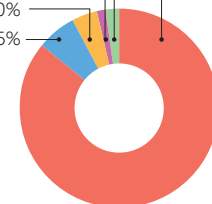
設立以来、買取専門店「バイク王」は、中古オートバイ市場において、お客様目線の革新的なサービスを提供し続けることで、お客様の信頼と評価を賜り、現在、「買取実績No.1」を不動のものとしております。

今後も、「買取実績No.1」の現状に甘んじることなく、お客様に信頼される確かなサービスを通じて、お客様のご満足を追求してまいります。

【ご参考】 第12期(2010年 8月期)販売台数： 170,130台
第13期(2010年11月期)販売台数： 37,048台 ※決算期変更により3ヶ月決算

■2010年中古車買取台数シェア[※]

その他 2.2%
Z社 1.3%
Y社 4.0%
X社 6.5%
株式会社アイケイコーポレーション 85.9%



※株式会社矢野経済研究所調べ(2011年5月現在)

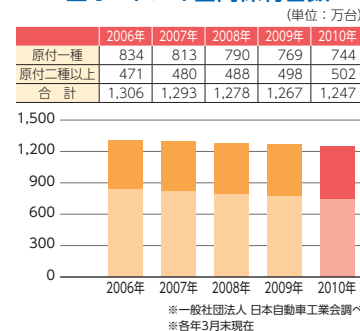
当社を取り巻く外部環境

2010年3月末現在の、国内におけるオートバイ保有台数は1,247万台といわれており全体として微減する傾向にあります。比較的市場価値の高い原付二種以上のオートバイの保有台数は僅かながら増加しております。

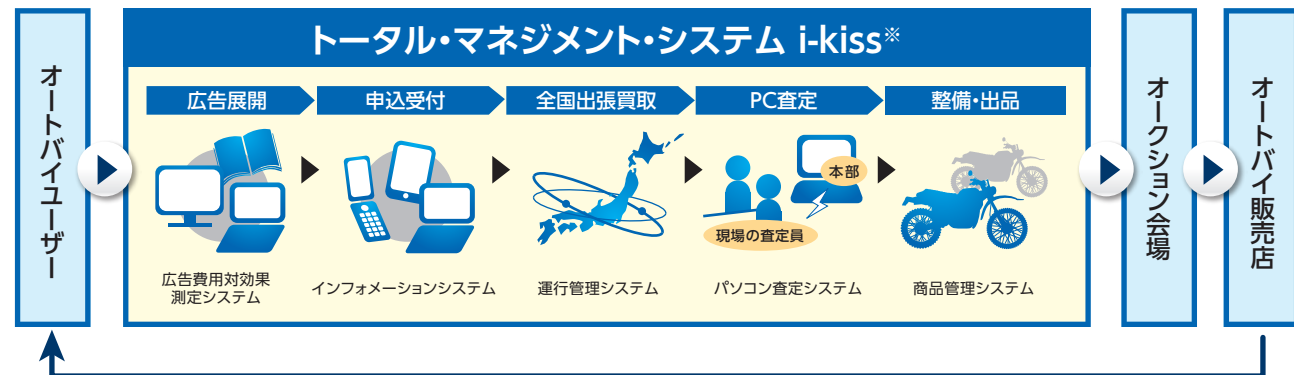
また、中古オートバイの流通市場は、その流通ルートや価格設定のあり方など未だ不透明な部分が多く、より安心・信頼される市場を形成する上で、まだまだ発展途上であるといえます。

「バイク王」の利便性・透明性の高いサービスを市場に浸透させることで、中古オートバイ市場の更なる活性化、リユース・リサイクルを通じた社会・環境問題に貢献してまいります。

■オートバイ国内保有台数



バイク王のビジネス・フロー

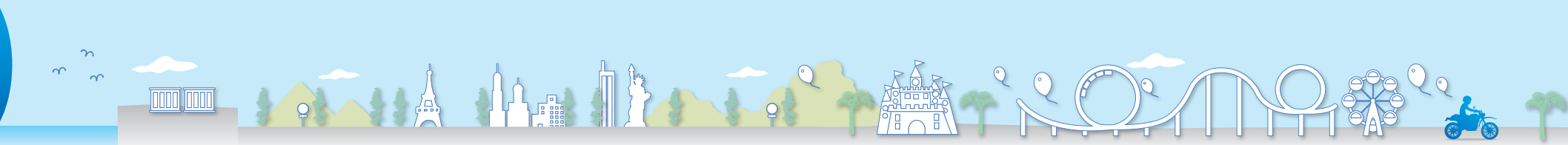


※オークション相場に連動した全国統一の査定基準の買取価格は、当社が独自開発したトータル・マネジメント・システム「i-kiss」によって、支えられています。また、i-kissは効率的な出張買取を実現するための運行管理システムを有するなど、当社ビジネスの各所で裏側から支えています。

全国対応可能な100店舗体制



当社は、市場シェアの拡大・認知度向上を目的として、第6期(2004年8月期)より「バイク王100店舗計画」を掲げ、積極的な店舗出店を行ってまいりました。2009年8月の「バイク王小平店」出店をもって、バイク王は100店舗体制となりました。これにより、全国対応の店舗基盤は概ね確立したと考えており、今後は、店舗当たりの生産性の向上および効率化に努めてまいります。



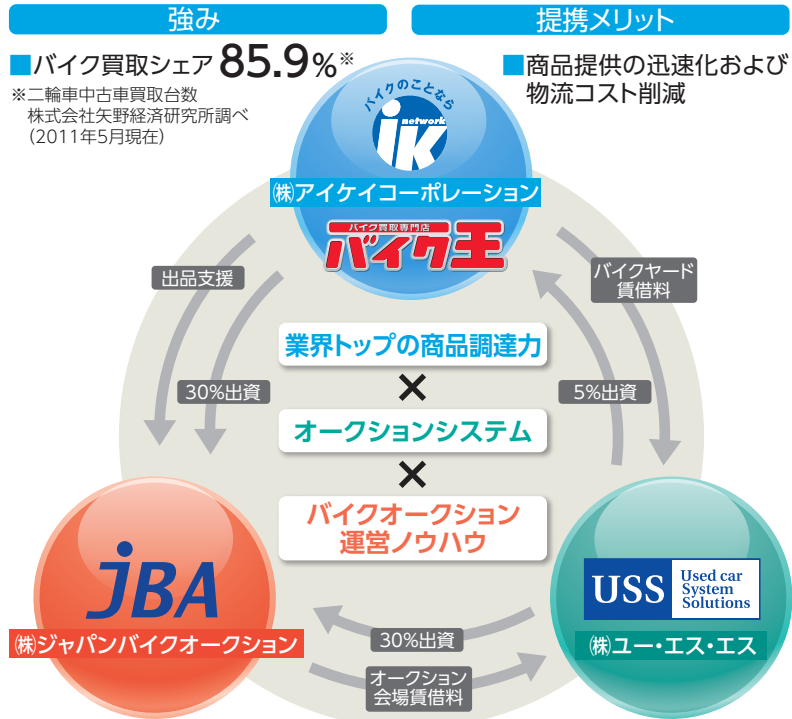
二輪車オークションの更なる活性化を目指して～買取から出品にかかる物流コストの削減を目指す～

当社および株式会社ユー・エス・エス(以下「USS」という)ならびに株式会社ジャパンバイクオークション(以下「JBA」という)は、それぞれの会社が持つ経営資源を有効活用し、事業基盤の強化・拡充・発展を目指すことが、更なる企業活動の向上に資するとの判断から、2011年3月に業務資本提携について基本合意を締結し、同年4月に個別契約及び株式譲渡に関する契約を締結いたしました。今後は、USSの利便性に優れたオークション会場およびオークションシステム、当社の業界トップの商品調達力およびJBAに蓄積されたバイクオークション運営ノウハウを有機的に組み合わせることにより、バイクオークション業界の更なる活性化を目指してまいります。また、これを機に、USSはバイクオークション事業における流通インフラの整備に寄与してまいります。

USSの運営するオークション会場「USS横浜」、「USS神戸」のオークション会場・設備を、USSがJBAに対して賃貸借により提供することにより、最新の設備を備えたバイクオークションを実現してまいります。また、バイクオークション市場の活性化を目的として、当社がJBAに対して出品協力・支援を行ってまいります。

さらに、当社の物流拠点の集約による商品提供の迅速化および物流コストの削減を目的として、USSが当社に対して、「USS横浜」、「USS神戸」の車輛ストックヤードを賃貸借により提供いたします。

**3社の強みが活きる
業務・資本提携関連マップ**



- | | |
|---|---|
| <p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 西日本最大規模のバイクオークション会場運営 ■ バイクオークション運営ノウハウ | <p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 中古車オークションシェア 33.8% (2010年暦年) ■ 全国17ヶ所にオートオークション会場を展開 |
|---|---|

自己株式取得の終了について

2010年10月4日開催の取締役会の決議による自己株式の取得は、以下のとおり全て終了いたしました。

取得した株式の総数：8,000株
 株式の取得価額の総額：184,756千円
 取得期間：2010年10月14日～2011年1月17日(約定ベース)
 取得方法：東京証券取引所における市場買付
 【ご参考】2011年5月31日現在の自己株式保有状況
 保有株式数：15,000株
 (発行済株式の総数に対する割合9.8%)

オートバイ小売販売店「バイク王ダイレクトSHOP16号相模大野店」をオープン

2011年1月21日、神奈川県相模原市に標準店舗パッケージに沿った新規店舗をオープン。同店は、「i-knew相模原店」と「バイク王ダイレクトSHOP横浜店」の統合により、新たにオープンしたものです。売場面積約163坪の店内に常時180台と豊富な車輛を取り揃えております。



第14期は、標準店舗パッケージの検証を進め、将来の多店舗展開の基礎を構築してまいります。

「東日本大震災」における被災地・被災者への支援に関するお知らせ

■中古原動機付自転車の無償貸与について

東日本大震災の被災者・被災地の復興に少しでもお役立ていただくため、岩手県ならびに宮城県の14市町村に対し中古原動機付自転車の無償貸与による支援を実施しております。

■義援金の寄付について

復旧・復興が長期にわたることを考慮し、継続的な支援活動を実施するため、以下の期間における月間売上の一部を毎月寄付することとしております。また、その寄付金額については、四半期毎に公表する予定です。(期間:2011年4月～2011年9月)

■「ボランティア休暇」制度の新設について

従業員が復興支援活動へ自発的に参加する際のサポートとして、4月7日に「ボランティア休暇」制度を新設しました。



岩手県ならびに宮城県の市町村に中古原動機付自転車の無償貸与を実施

- 第1便 3月31日付で、岩手県大船渡市、他2市町村に貸与
- 第2便 4月8日付で、岩手県宮古市、他3市町村に貸与
- 第3便 4月14日付で、宮城県気仙沼市、他6市町村に貸与

義援金実績(2011年5月末現在)

1,820千円

※四半期毎に実績を公表させていただきます。